

宝清寺年中行事

三月 彼岸中日・塔婆供養
 四月 八日・花祭り
 七月 十七日・孟蘭盆会供養
 七月 十七日・お施餓鬼法要
 九月 彼岸中日・塔婆供養
 十月 十二日・お会式法要

日蓮宗の聖日

二月 十五日・釈尊涅槃会
 二月 十六日・宗祖降誕会
 四月 八日・釈尊降誕会
 四月 二十八日・立教開宗会
 五月 十二日・伊豆法難会
 五月 十七日・身延御入山会
 七月 八日・本尊始難会
 八月 二十七日・龍口法難会
 九月 十八日・池上御入山会
 十月 十一日・宗祖御会式
 十一月 十一日・小松原法難会

御祈願・御供養

交商通 繁盛安
 売通 繁盛安
 厄位 祈
 運産 祈
 開安星除方虫商交
 守守祭願除封願全

宝清寺では、花祭り（灌仏会）、お盆（孟蘭盆会）の施餓鬼法要、日蓮聖人のお会式を毎年盛大に厳修しております。
 このほかにも諸祈願や自動車のお祓いや、年忌供養・祥月命日供養・月命日供養等も行ってまいります。詳しくは寺務所までご相談ください。

仏様の七禁し

昨今、世の中をにぎわしているニューマスで麻薬など薬物に関する問題が深刻化しており、若者にも影響を及ぼしかねない芸能界からの発生には看過できず、また清純派を宣伝文句にしていたタレントの無責任な行動には憤りを感じます。

仏教では、最低限してはいけない戒律があり、不殺生、不偷盗、不妄語、不邪淫、不飲酒の五つが数えられる。不殺生は、読んで字のごとく生き物を殺してはいけないことであり、不偷盗とは、他人の物を盗んではいけないことである。不妄語は嘘を言ってはならない、不邪淫とは淫らな性交をしてはならない、不飲酒とは酒を飲んではいけないことである。

皆さんはどれだけ戒律に背いているだろうか？「生き物を殺すなかれ」と言ったところで、牛、豚、鳥や野菜も生き物であることにはかわりなく、直接的に動植物を殺してはなくても、自分が生きるためにそれらを食べているのだから、間接的に殺生をしているのではないだろうか。他者を犠牲にして、我々は生きていくことを理解し、感謝の心を持って生き活しなければならぬ。

妄語とは、嘘、偽りのこと、他者を欺いて自己の利益にしようとすることである。似た言葉で「方便」がある。これは他者に利益を与えようとする心から、相手に理解しやすい方法を用いて使うことで、嘘と方便とはその性格はまったく逆なものである。
 邪淫とは、ほかの婚姻者と淫行し

たり、売春や買春などの邪心（よこしまなこころ）で行う行為のことである。飲酒とは、「酒を飲むな」ということであるが、これには若干の説明が必要である。「酒は百薬の長」とも言われ、適度に飲めば健康を増進させるものであるが、その量に問題があり、酒に飲まれ、自制心を喪った人間の行動には注意が必要である。

酒を飲んで車の運転を控えることは当然のことだが、言動や行動にも注意が必要である。ましてや覚醒剤などを使用した場合、人によっては人生を台無しにしてしまえばかりでなく、親戚やまわりの人々にも多大な迷惑をかけてしまい、利己的で、感謝ある生活を送っている人とはいえないだろう。

誘惑にまけない強い心をもつことは大切なことだが、強い心をもつためには、人間として、してはいけないことと、しなければならぬ分別を持つことが、戒律なのである。

今年の一月号で、新型インフルエンザのお話しをしました。厚生労働省のシミュレーションでは最大六十四万人の方が死亡するということでもショッキングな報告がなされていきました。それから八ヶ月の月日がたちましたが、日本人の性格でしょうか、熱しやすく冷めやすいのか、それとも危機管理が万全なのかわかりませんが、今一度、インフルエンザ対策を検討していただきたいと思えます。
 例年ですと季節性のインフルエンザは秋ごろから徐々に流行し始めますが、今回の

健康の秘訣

新型のインフルエンザは夏の日本でも、爆発的流行を示しています。九月になると夏休みが終わり、学生が通学を始めます。この時期から、人の往来が激しくなり、インフルエンザも多発すると言われていますので、この時期から十分な注意が必要となります。学生がいるご家庭では、家族のかたが感染する可能性が高くなりますので、お子さんが帰宅したら、うがいや手洗いをこまめに行うように指示してください。また、インフルエンザの症状でない時でも、病院に行く場合は他者からの感染を受けないために、マスクを着用して行ってください。また、インフルエンザにかかっていても、予防接種をしていけば、重度の症状にはならないと言われています。

特に注意をしていただきたい方として、持病をお持ちの方や、妊娠している方は、早めに医師と相談しインフルエンザの予防に努めていただきたいと思えます。

お一人でお住まいの方は、タクシー会社などの電話番号などもメモっておく必要があるでしょう。また、夜間や休日診療を行っている病院も知っていれば、緊急の時に慌てずすみみます。

一人でお住まいの方は、タクシー会社などの電話番号などもメモっておく必要があるでしょう。また、夜間や休日診療を行っている病院も知っていれば、緊急の時に慌てずすみみます。

宝清寺の草花

本堂に向かって右側に約十メートルはあろうかと思われる金木犀（いんもくせい）が植わっている。金木犀の花自体は小粒で可憐な花であり、花を愛でるというよりも、その芳香を楽しむことが金木犀の良いところではないだろうか。香を知っている方は、金木犀の香りを感じて秋の到来を知る人もいるのではないだろうか。ちなみに春の香りは沈丁花、夏は梔子（くちなし）といわれている。金木犀は日本での名称で、中国では丹桂と呼ばれる。丹とはダイダイ色という意味で、桂とはモクセイ科の植物の名称である。金木犀は日本古来からの植物ではなく、江戸時代に渡来した植物であるため、和歌や万葉集などに、その存在は記されおらず、我々の生活に溶け込んでいるが、比較的新しい存在なのである。



宝清寺の行き方

